

制作日：2024年7月25日

WEB サイト計画書

制作者：池田 悠耶
いけだ ゆうや

目次

1 . . . プロジェクト概要

2 . . . サイト構成

3 . . . デザインとユーザー体験

4 . . . 技術的な詳細

5 . . . コンテンツの計画

6 . . . スケジュール

7 . . . 予算とリリース

8 . . . リスク管理

1. プロジェクト概要

タイトル：鈴木栄太郎の未発表手書き原稿 | デジタルアーカイブ

目的：鈴木栄太郎の未発表手書き原稿をデジタルアーカイブ化することにより、多くの人々にアクセス可能な形で提供する方法を考案し、その効果を実証することを目指します。

背景

デジタルアーカイブ化は、今後の情報管理において非常に重要な役割を果たすと期待されています。特に、歴史的な書物や文書のデジタル化は、その保存と共有を容易にし、未来の世代に貴重な知識を伝えるための大きな手段となります。しかし、現状では多くの方がデジタルアーカイブの具体的な内容や利便性について十分に理解しておらず、歴史的な文書に対する関心も一般的には高くない傾向があります。このような状況を踏まえ、私たちは新たなアプローチを提案し実行することで、デジタルアーカイブの重要性を広く認識していただき、同時に歴史的な文書への関心を高めることを目指しています。具体的には、デジタルアーカイブの利便性や魅力を視覚的に訴えるコンテンツを提供し、歴史文書の価値を実感できる体験を創出することで、両者への関心を深めることを目指しています。この取り組みにより、デジタルアーカイブの活用が進み、歴史的な書物に対する理解と興味が広がることを期待しています。

対象ユーザー

・歴史愛好者・研究者（学者）・教育機関・企業・一般ユーザー

主要な成果

WEBサイトでのデジタルアーカイブ化により多くの人々がアクセス可能な形で提供することができます。これにより、歴史文書のデジタルアーカイブ化の重要性が広く認知され、歴史だけではなく多くの情報管理技術にも影響を与えると考えます。この取り組みにより、さらなる研究やアーカイブ活動の促進が期待されます。

2. サイト構成

サイトマップ

完全に完成したのち掲載します

主要ページとその内容

- ・トップページ

タイトル・サブタイトルの表示：ページの最上部に、サイト全体のタイトルとサブタイトルを表示します。

リンク付きのボタンを 4 つ配置それぞれ異なるページやセクションへのナビゲーションを提供します。

中央に検索ツールを配置：ページの中央に検索ツールを配置し、ユーザーがサイト内の情報を簡単に検索できるようにします。

デジタルアーカイブについての表示：制作に協力してもらった方の簡単な紹介をしています。

お知らせの表示：更新情報を表示し、ユーザーに重要な情報を提供します。

ピックアップコンテンツの表示：特に注目すべきコンテンツやおすすめの情報をピックアップし、ユーザーに紹介します。

ナビゲーションの設計

- ・メインナビゲーション

(全てのデジタルアーカイブを見る)

(鈴木栄太郎について)

(制作・運用担当者)

(WEB ページ計画書)

- ・サブナビゲーション

(PDF をダウンロードする)

追加機能やプラグイン

- ・特別な機能：グーグルフォーム（レビュー・フィードバック）を想定

3. デザインとユーザー体験

デザインのテーマ

- ・デザインテーマについて説明します。

シンプルで視認性の高い単色デザインを採用しており、誰でも簡単に見やすい構成となっています。全ページのリンクボタンは統一して青色にし、お知らせには目を引く赤色を使用しています。また、ピックアップコンテンツには写真を表示することで、シンプルなデザインの中でもその部分だけが際立ち、クリック率の向上を図っています。鈴木栄太郎の紹介ページには、彼の写真を載せることで、一目で鈴木栄太郎であることがわかるようにしています。

ユーザーインターフェース (UI)

- ・

4. 技術的な詳細

使用する技術

- HTML
- CSS

レスポンシブデザイン

PCでの表示（閲覧）を想定しているため、現在はモバイルデバイスの画面サイズに対応していないため表示にずれが生じます。

現時点でのモバイルデバイスの画面サイズ対応の処置は考えておりませんので引き続き PC での閲覧をよろしくお願いします。

5. コンテンツの計画

コンテンツの種類

掲載コンテンツは、鈴木栄太郎の未発表手書き自伝のスキャン画像とテキスト

コンテンツの作成

コンテンツは HTML、C、C+に加えて、IIIF の活用をします。

2024年7月26日（現在の予定）

バーチャル空間での鈴木栄太郎紹介

6. スケジュール

プロジェクトのスケジュール

(箇条書きで表示します)

2024年7月

- ・WEB サイトの構築
- ・各ページのデザインとテキストの計画
- ・主要ページの制作開始
- ・主要ページの制作終了

2024年8月

- ・サブページの制作開始
- ・サブページの制作終了
- ・IIIF の導入開始

2024年9月

- ・WEB サイトの全ての機能の確認と修正
- ・WEB サイトを Google サーチコンソールへ提出

2024年10月

- ・WEB サイトの閲覧統計
- ・マーケティング (WEB サイトの動向など) の確認

7. 予算とリリース

予算

- ・現段階では予算はかかりません。(¥0)

リリース

機能テスト

サイトの全機能が正常に動作することを確認します。

ユーザビリティテスト

ユーザーがサイトを使いやすいと感じるかどうかを評価します。

パフォーマンステスト

サイトの速度やレスポンス時間をテストし、最適化を行います。

セキュリティテスト

セキュリティの脆弱性を検出し、修正します。

- ・サイトに掲載されるすべてのコンテンツが正確で最新であることを確認します。誤字脱字やリンク切れがないかもチェックします。

リリース後のサイトのパフォーマンスを監視し、ユーザーからのフィードバックを収集します。不具合の修正や改善のための迅速な対応を計画します。

8. リスク管理

セキュリティリスク

リスク内容

ハッキング、マルウェア感染、DDoS 攻撃、データ漏洩

管理方法

SSL/TLS 証明書の導入: HTTPS を使用して通信を暗号化し、データの盗聴を防ぎます。

定期的なセキュリティパッチとアップデート: サーバーやソフトウェアの最新のセキュリティパッチを適用し、脆弱性を修正します。

強力なパスワードと多要素認証: 管理者やユーザーのアカウントに強力なパスワードと多要素認証を使用します。

ファイアウォールと IDS/IPS: 不正アクセスを検出し、遮断するためのファイアウォールと侵入検知・防御システムを導入します。

データプライバシーのリスク

リスク内容

個人情報の流出、不適切なデータの使用

管理方法

プライバシーポリシーの明確化: ユーザーがどのような情報を収集し、どのように使用するかを明示したプライバシーポリシーを提供します。

データの最小収集と保管: 必要最小限のデータのみを収集し、保存期間を制限します。

データの暗号化: 保存されたデータや送信されるデータを暗号化して保護します。

運用上のリスク

リスク内容

サーバーのダウンタイム、ネットワーク障害、データ損失

管理方法

バックアップの実施: 定期的にデータバックアップを行い、障害時の復旧を容易にします。

高可用性構成: 冗長構成やクラウドサービスを利用して、サイトの可用性を高めます。

監視システムの導入: サーバーやネットワークの状態を監視し、問題が発生した際に迅速に対応できるようにします。

法的リスク

リスク内容

著作権侵害、法的規制の違反

管理方法

著作権の確認: 使用する画像、テキスト、その他のコンテンツが著作権で保護されているかを確認し、必要なライセンスを取得します。

利用規約とプライバシーポリシーの作成: ユーザーがサイトを利用する際のルールやプライバシーの取り扱いについて明記します。

法的助言の取得: サイトの運営に関する法的な問題については、専門家の助言を求めます。

コンテンツリスク

リスク内容

不正確な情報の掲載、コンテンツの著作権問題

管理方

コンテンツのレビューと承認プロセス: 公開前にコンテンツをレビューし、正確性や適法性を確認します。

定期的な更新と管理: コンテンツを最新の状態に保ち、古い情報やリンクを適時更新します。